

第25回「人文知」コレギウム

2021年10月20日(水) 13:30~15:30

学生・一般の方の聴講歓迎・無料・要事前申込

犯罪捜査の言語学 ～「白バラ」のピラを例に～

阿部 美規 (ドイツ言語文化・准教授)

13:30~14:30

テキストをデータに「翻訳」する方法を用いて、すなわちテキストのもつ特徴を数量化しテキストを分析する計量文献学の手法を用いて、第2次世界大戦中のドイツで反ナチ抵抗運動を呼びかける目的で頒布された「白バラ」のピラを鑑定することを試みる。従来になされた「人文科学的」鑑定の結果とも比較しながら、著者推定に関する計量文献学的調査の利点や問題点を示したい。

翻訳を通じた言語対照研究

宮内 伸子 (ドイツ言語文化・教授)

14:30~15:30

日本文学作品とそのドイツ語訳（および英語訳）を対照させて、それぞれの言語にとって得意な表現、好まれる表現を確認し、言語による発想の違いの解明を試みる。これまでに、吉本ばなな、川端康成、三島由紀夫、太宰治、宮部みゆき、山田太一、北杜夫、開高健の作品を取り上げ、直喩、恩恵授受表現、終助詞、人称代名詞等さまざまな観点から考察してきた結果を報告する。さらに日本の伝統文芸である俳句の翻訳についても触れる。

多様な翻訳の世界

ドイツ語を手がかりに



オンラインZoom開催(要事前申込)

下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

(申込締切:2021年10月17日(日))

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe0BirQMzZSZ7AD6df-dpl0emSs2FtQSSgBFbJpiMhtOLt1iw/viewform?vc=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link

お問い合わせ 富山大学人社系総務課(人文担当)

jinbuns@adm.u-toyama.ac.jp